

原料費調整（スライド）制度に基づく2024年2月のガス料金について

拝啓 時下ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。日頃は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて弊社では、原料費調整制度に基づいた都市ガス従量料金単価の調整を、下記のとおりとさせていただきます。ただしくことになりましたので、お知らせいたします。

敬具

記

- 「原料費調整（スライド）制度」に基づき、2024年2月検針分に適用される従量料金単価を、2024年1月検針分に適用される従量料金単価に対し、1 m³あたり+1円41銭（税込）調整させていただきます。なお、2024年2月検針分に適用される従量料金単価は、政府の支援（電気・ガス価格激変緩和対策事業）で、15円/m³（税込）が値引きされています。
- 標準家庭（1か月のご使用量が21 m³）の場合、ガス料金は月額6,023円（税込）となり、29円（0.48%）お支払額が増加します。

※ 原料費調整（スライド）制度は、都市ガスの原料となるLNG、プロパンの価格変動に対応して、従量料金単価（1 m³あたりの単価）を、毎月見直す制度です。

今回の料金の算定基準となる2023年9月～2023年11月のLNG、プロパンの平均原料価格を2023年9月～10月の貿易統計確報値および2023年11月の貿易統計速報値を基に算定しますと、平均原料価格は90,910円/t となります。2024年1月検針分のガス料金調整額を算定した2023年8月～2023年10月の実績平均原料価格に比べ、今回の調整額の算定基準となる2023年9月～2023年11月の実績平均原料価格は、トンあたり1,650円上昇することになります。また、政府の支援により15円/m³（税込）が値引きされていますので、料金調整は上記のとおりとなります。

電気・ガス価格激変緩和対策事業の詳細につきましては資源エネルギー庁「電気・ガス価格激変緩和対策特設サイト」をご覧ください。

[\(https://denkigas-gekihenkanwa.go.jp/general/\)](https://denkigas-gekihenkanwa.go.jp/general/)

●2024年2月検針分に適用されるガス小売供給約款料金（消費税等相当額を含みます。）

2024年1月検針分の従量料金単価に対して、+1.41円の調整となります。

料金表	1か月の 使用量	基本料金 (1か月あたり)	従量料金単価 (1 m ³ あたり)	
			2024年2月	2024年1月
A	0 m ³ から 10 m ³ まで	976.80 円	272.64 円	271.23 円
B	10 m ³ を超え 170 m ³ まで	1,593.46 円	210.97 円	209.56 円
C	170 m ³ を超え 500 m ³ まで	4,690.18 円	192.75 円	191.34 円
D	500 m ³ を超える	10,674.18 円	180.79 円	179.38 円

※基本料金は変わりません。

※基本料金、従量料金単価とも消費税等相当額を含んでいます。

※2024年1月および2024年2月の従量料金単価は、政府の支援により、15円/m³（税込）が値引きされています。

●2024年2月検針分 お客さまへの影響額

標準家庭（1か月のご使用量が21 m³）の場合

2024年2月適用料金 (a)	2024年1月適用料金 (b)	増減(c) (a) - (b)	増減率 (c) / (b)
6,023 円	5,994 円	29 円	+0.48%

1. 上記の料金は、いずれも消費税等相当額を含む1か月の料金です。

2. 「標準家庭」のガス使用量は日本海ガスの家庭用のお客さまの2016年～2020年の月平均使用量です。

●平均原料価格（円/t）および従量料金単価調整額（円/m³）

	2023.9～2023.11	2023.8～2023.10	基準平均原料価格
LNG平均輸入価格(貿易統計値)	90,700	89,220	132,510
プロパン平均輸入価格(貿易統計値)	92,160	83,420	88,150
平均原料価格(LNG換算)	90,910	89,260	131,740

■2023年9月～11月の平均原料価格の算定

$$\begin{aligned}
 \text{平均原料価格} &= \text{LNG平均輸入価格} \times 0.9788 + \text{プロパン平均輸入価格} \times 0.0231 \\
 &= 90,700 \text{ 円/t} \times 0.9788 + 92,160 \text{ 円/t} \times 0.0231 \\
 &= 90,906.056 \text{ 円/t (10円未満四捨五入)} \\
 &= \underline{\underline{90,910 \text{ 円/t}}}
 \end{aligned}$$

■原料価格変動額の算定

$$\begin{aligned}
 \text{原料価格変動額} &= \text{平均原料価格} - \text{基準平均原料価格} \\
 &= 90,910 \text{ 円/t} - 131,740 \text{ 円/t} \\
 &= -40,830 \text{ 円/t (100円未満切捨て)} \\
 &= \underline{\underline{-40,800 \text{ 円/t}}}
 \end{aligned}$$

■従量料金単価調整額(1 m³あたり)の算定

$$\begin{aligned}
 \text{従量料金単価調整額} &= \{ \text{原料価格変動額} / 100 \text{ 円} \times 0.080 \times (1 + \text{消費税率}) \} - \text{政府の支援による値引き} \\
 &= \{ -40,800 \text{ 円} / 100 \text{ 円} \times 0.080 \times 1.10 \} - \underline{\underline{15 \text{ 円}}} \\
 &= -35.904 - \underline{\underline{15}} \\
 &= \underline{\underline{-50.91 \text{ 円/m}^3}}
 \end{aligned}$$

※原料価格変動額100円につき従量料金単価を0.088(0.080×1.1)円調整します。

※調整額がプラスの時は少数点第3位以下を切捨て、マイナスの時は少数点第3位以下を切上げます。

※政府の支援により、15円/m³（税込）が値引きされています。

	2024年2月	2024年1月	増減
調整額 (円/m ³ ・税込)	-50.91	-52.32	+1.41

以上